

**令和6年度「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」  
「リサイクルの視点をもつ戦略的な廃止措置マネジメント人材育成」  
受講生募集のお知らせ**  
<https://hairo.net/>

1. 研修の目的

原子力発電所の廃止措置においては、廃棄物を戦略的に取り扱うことが重要な視点です。特に、廃止措置中の原子力発電所は、基本的に廃棄物の塊であり、適切な分類を行い、リサイクルや処分を進めていくことが必須です。廃止措置にも「リサイクル」の概念を積極的に取り入れていくことが望まれます。このためには、廃止措置をプロジェクトとしてとらえ、プロジェクトマネジメントのスキルを持つとともに、リサイクルの視点を持つ人材であり、社会との関わりを強固なものとしていくスキルが必要になります。

これらの背景を踏まえ、戦略的な観点を持って原子力施設の廃止措置を推進していくスキルを持つ人材、すなわち、廃止措置に係る技術的な側面に加え、プロジェクトマネジメントの視点をもつ人材を育成していきます。原子力分野だけではなく、経営学や社会科学、社会心理学など、様々な背景の学生を募集します。プロジェクトマネジメントについての知識を身につける事で、廃止措置だけではなく、様々な分野への応用も可能です。

なお、研修は、座学としてのオンライン研修、合宿形式の現地実習、海外施設の視察と討論を行う海外研修の3つの内容で実施します。海外研修は、オンライン研修と現地実習参加者の中から、選抜します。

2. 研修日時

- ①オンライン研修: 令和6年11月9日(土)、16日(土)、30日(土) (zoom)
- ②現地実習: 令和7年1月5日(日)~7日(火) (敦賀発電所(予定))
- ③海外研修: 令和7年3月2日(日)~8日(土) (日程調整中)  
(アメリカ/メンフィス処理施設、ベアクリーク処理施設等(予定))

3. 研修費用等

研修に要する費用(研修費、宿泊費、交通費(居住地区から国内外の研修場所までの交通費))については、東京大学の規定に従い研修主催者(東京大学)が負担します。海外研修も同様です。

4. 申し込み方法

令和6年10月1日(必着)までに、必要事項記載のうえ電子メールで申し込みください。

(1) 申込書に記載する事項

- ① 氏名(漢字、読み仮名、英字表記)
- ② 生年月日、年齢、性別
- ③ 所属(学校名、学部学科名、学年)/(会社、部署、役職)
- ④ 現住所 連絡先 (Eメールアドレス、電話番号)
- ⑤ 講義・実習 / 国内現場研修 の参加・不参加
- ⑥ 海外廃止措置研修の希望の有無

(2) 申込先 [inoue@tokai.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:inoue@tokai.t.u-tokyo.ac.jp) 東京大学原子力専攻 井上宛て

**令和6年度「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」  
「リサイクルの視点をもつ戦略的な廃止措置マネジメント人材育成」  
受講生募集のお知らせ**  
<https://hairo.net/>

5. 研修生の募集

本研修では、国内の大学で理学又は工学若しくは経済学、経営学\*又は社会心理学というよう  
な社会科学を学ぶ大学の学部生及び大学院生(修士、博士共)並びに高等専門学校生であって、  
下記に示すような原子力施設の廃止措置に興味を持っている人を募集します。

- 原子力分野において単なる技術者ではなく、事業(プロジェクト)の全体を戦略的な観点をも  
ってマネジメントしていく専門家として活躍していきたいと考えている人
- 長期にわたる大きなプロジェクトの立案、運営及び管理を行いたいと考えている人
- 廃止措置プロジェクトを通して原子力利用と社会との関わりを強固にしていきたいと考えて  
いる人
- 国際的な動向を把握し、海外の専門家と協働していくことを望んでいる人

**\* 理工系に加え、経済学、経営学などの社会科学を専攻する学生、院生を対象とします。**  
これは、効果的かつ効率的で、さらに社会受容性の下で廃止措置を遂行していくには、  
原子力工学だけではない理工系とは異なる視点、すなわち、社会科学の視点での運  
営管理も必要であるからです。このような人材が廃止措置に参加してくることにより、こ  
れまでにない廃止措置の推進が実現されることが期待されます。

なお、原子力、放射線工学に関わる学習の経験がない、または、原子力施設の廃止措置を理  
解するための知識が足りないと判断する学生、院生に対して、廃止措置の理解に必要な原子力、  
放射線工学の基礎を学ぶための講座を実施します。この講座は、通信教育の方式で実施すると  
ともに、オンラインによる講義も実施します。

本基礎講座については申し込み後に改めてご連絡します。放射線など全くわからないという方  
も、全く問題なく、参加できます。

<基礎講座の内容>

- 原子力とは
- 原子力発電所
- 放射能と放射線
- 放射性廃棄物のリサイクル・処理処分
- 廃止措置と廃棄物の安全

6. 問合せ先

東京大学 原子力専攻 教授 岡本孝司 (okamoto@n.t.u-tokyo.ac.jp)

**令和6年度「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」  
「リサイクルの視点をもつ戦略的な廃止措置マネジメント人材育成」  
受講生募集のお知らせ**  
<https://hairo.net/>

7. 研修の概要

① オンライン研修(15名)

廃止措置と廃棄物のリサイクル・処理処分の全般にわたる知識及び戦略の構築並びにプロジェクト管理の習得を目的として、次の講義及び実習を実施します。なお、講義はオンライン(zoom)で実施します。

- i. 廃止措置と廃棄物のリサイクル・処理処分に必要な知識(対象施設の特性評価、除染技術、解体技術、安全管理、廃棄物のリサイクル・処理処分の基礎、費用評価)
- ii. 廃止措置と廃棄物のリサイクル・処理処分の社会との関わりに関する知識(廃止措置と廃棄物の社会のイメージ(廃止措置と廃炉)、安全と安心、社会心理学からみた廃止措置と廃棄物)
- iii. 戦略的な視点を持つプロジェクトマネジメント
  - 廃止措置と廃棄物のリサイクルに対する戦略的な視点に基づくプロジェクトマネジメント
  - 戦略の構築に必須の3項目(特徴分析、環境分析、リソース分析)に係ること
  - 状況の変化に対応するスキル(グレーデッドアプローチの適用)に係ること

なお、講義に先立ち、講義解説資料及び事前課題を送付し、事前課題を提出していただきます。

オンライン研修のスケジュールは以下の通りを予定しています。

	1日目 11月9日(土)	2日目 11月16日(土)	3日目 11月30日(土)
	i.廃止措置と廃棄物のリサイクル	ii.廃止措置と廃棄物の社会の関わり	iii.戦略的視点を持つプロジェクトマネジメント
9:00-10:30	廃止措置の基本知識	廃止措置に対する社会のイメージ	廃止措置のプロジェクト管理
10:40-12:00	廃止措置の基本安全	廃棄物に対する社会のイメージ	廃棄物処理処分のプロジェクト管理
12:00-13:00			
13:00-14:30	廃止措置で発生する廃棄物	廃止措置と廃棄物に関わる安全と安心	グレードアプローチの適用
14:40-16:00	廃棄物のリサイクル・処理処分	ステークホルダーとの良好関係の構築	廃止措置と廃棄物のリサイクル、処理処分の戦略
16:10-17:00	廃止措置と廃棄物のリサイクル・処理処分の課題		

**令和6年度「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」  
「リサイクルの視点をもつ戦略的な廃止措置マネジメント人材育成」  
受講生募集のお知らせ**  
<https://hairo.net/>

② 現地実習(15名)

講義で学んだ内容の定着と廃止措置や廃棄物のリサイクル・処理処分とはどういうものであるかを実感するため“廃止措置の現場”を体験する**実習と現場の視察**を実施します。

実習では、講義の終了時(11月30日(土))に説明する「廃止措置で発生する廃棄物を合理的に扱う戦略の構築」を事前課題として取り組んでいただき、グループ学習で取りまとめを行なったものの有効性を廃止措置の現場を見て確認し、廃止措置と廃棄物のリサイクル・処理処分の課題の抽出と解決策の検討を行います。

なお、実習は日本原子力発電(株)敦賀総合研修センターで、合宿形式で実施します。

現地実習のスケジュールは以下の通りを予定しています。

	1日目 1月5日(日)	2日目 1月6日(月)	3日目 1月7日(火)
8:30-12:00		グループ学習 (戦略の構築)	グループ学習 (発電所視察のまとめ) (戦略の構築(見直し))
12:00-13:00	12:00に敦賀駅集合	12:30 研修センター出発	
13:00-17:30	13:00-13:30 オリエンテーション 13:30-15:00 事前課題の発表 15:00-17:30 グループ学習	<b>敦賀発電所視察</b>	13:00-15:00 実習成果の発表  (16:00頃敦賀駅解散)

③ 海外研修(6名)

先行する海外の廃止措置状況を視察し、良好事例を吸収するために海外の廃止措置実施施設を訪問し、視察並びに廃止措置の戦略に係る事項についての議論及び情報交換を実施する。「百聞は一見に如かず」。国内視察と同様、現場の体験は知識をスキルに変えていくものとして最も高い効果が期待できます。この効果をより高めるために、海外研修に先立ち、現地技術者との議論のテーマ選定及び情報交換のための資料作成を行う実習をオンラインで実施します。

研修期間:令和7年3月2日(日)~8日(土)(予定)

訪問先:アメリカ(Memphis Processing Facility、Bear Creek Processing Facility 他)

実際に、原子力発電所で使われた蒸気発生器などをリサイクルしている施設

海外研修の参加者は、参加希望者の中から講義と実習、国内視察で研修生に取り組んでいただく課題及び受講状況などから判断し、選抜します。なお、海外研修は現地を訪問して視察することを前提としますが、コロナなどの状況により現地訪問が難しい場合には、オンラインによる視察及び議論を実施します。